

様式1 平成 31年度 山梨県立山梨高等学校 学校評価報告書（自己評価・学校関係者評価）

学校目標・経営方針 校訓、最高指導理念である「至誠無息」を生活の中での心得として、常に目標や理想を高く掲げ、真摯に生きることを求める

山梨高等学校長 三森 克人

本年度の重点目標	I 学びの本質に迫り、学習習慣の確立と基礎基本の確実な定着、学力向上に努める。	達成度	A ほぼ達成できた。（8割以上）
	II 誇りと気概を持ち、自他を敬愛する豊かな心の育成に努める。		B 概ね達成できた。（6割以上）
	III 健康・防災安全教育を充実させ、心身ともにたくましい生徒の育成を図る。		C 不十分である。（4割以上）
	IV 地域や保護者に信頼される学校づくりを目指す。		D 達成できなかった。（4割以下）

評価	4 良くできている。
	3 できている。
	2 あまりできていない。
	1 できていない。

自 己 評 価				年度末評価（2月10日現在）	
番号	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	自己評価結果	達成度
1	基礎学力の確実な定着と、学習習慣の確立	1 「主体的・対話的で深い学び」への授業改善に積極的に取り組む。	授業観察による評価、授業改善アンケートや定期試験及び模試等で評価。	B	B
		2 計画的な課題学習とおとした確実な家庭学習の定着と「朝の読書の時間」の活用とおした継続的な読書習慣の確立等により、「思考力・判断力・表現力」の伸長を図る。	学習習慣の確立につながる学習評価方法の検証。		
		3 「総合的な学習の時間」の実践等とおして、学習意欲を高めると共に、主体的な進路探求を深め、一人一人の個性や適性に応じた進路実現を図る。	学校評価アンケート（生徒・保護者・教員：以下学校アンケート）や授業参観において検証。		
2	自他を敬愛する豊かな心の育成	1 望ましい集団活動とおして、自己肯定感、充実感、向上心を持つことのできる生徒を育てる。	学校アンケートの実施。	B	B
		2 LHRや各種講演会等とおして、青年としての生き方や人間としての在り方を学ばせる。	学校アンケートの実施。道徳教育の全体計画の検証。		
		3 特別活動や体験活動の充実により、困難を乗り越える強い意志と勇気、正義感や公正さを重んじる心や向上心などの豊かな心を育む。	学校アンケートの実施。		
3	健康・防災安全教育の充実とたくましい生徒の育成	1 基本的な生活習慣を確立し、生命や人権を尊重する心やボランティア精神を育て、生活の質を向上させられるような、健康でたくましく生きる生徒の育成を図る。	学校評価アンケートの実施。	A	A
		2 部活動・委員会活動を活発に展開し、健康な体と感動する心を持ち、他者と協調しながら自ら道を切り開くことのできる生徒を育てる。	生活実態調査の実施と指導。		
		3 培われてきた防災・安全教育をさらに発展させ、生命を大切にする指導に努める。	学校アンケートの実施。行事の検証。		
4	地域や保護者に信頼される学校づくりの推進	1 「学便り」や「進路便り」、梨高メール、ホームページなどを活用し、学校の教育活動について積極的な情報提供を行う。	学校アンケートの実施。広報物の検証。	A	A
		2 地元中学校との連携を強化し、本校の教育内容や特色や活動の成果を、学校説明会等を通じて積極的に広報する。	学校アンケートや授業参観において検証。		
		3 学校評価の適切な実施とその公開により、教育活動の一層の改善と充実を図る。	学校アンケート、学校評議員用アンケートの実施。		

学校関係者評価	
実施日（令和2年2月14日）	
評価	意見・要望等
3	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の重点目標である「学習習慣の確立と基礎基本の確実な定着」については、全体的に成果を上げたと思われる。ただ、生徒に授業の意図を理解させたり、課題への取組には、工夫の余地があると思われる。 ・「朝の読書の時間」の取組に差がみられ、保護者・生徒の評価も違っている。読書の効用は誰もが認めているところであり、より一層の工夫をお願いしたい。 ・Classiの導入から2年が経過し、環境整備とともに教育活動に適した幅広い活用が望まれる。 ・校訓や学習目標を常に意識する学校運営
3	<ul style="list-style-type: none"> ・拡大いじめ対策委員会からの報告があり、いじめにあたるような事例がなくて安心している。ただ、コミュニケーションが適切に取れないことで誤解が生じた例が散見されたという報告があった。他者理解のコミュニケーションの大切さをこれからも指導してほしい。 ・インターンシップをはじめ、本校の各種体験活動やボランティア活動は、地域からも期待されているものであり、生徒のやる気を引き出す取り組みである。今後も引き続き取り組んでほしい。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・事故の報告があったが、交通指導を徹底し、自転車・バイクを安全に乗る指導をするだけで地域の信頼は上がると思う。 ・生徒減の中で、部活動の活性化に向けて、年間計画づくりやメリハリのある活動を目指して、全校体制で取り組んだ。 ・生命尊重の意識を、あらゆる機会を通じて生徒に訴えてきた。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信としてのホームページや学校ブログは、意識して見に行かなければならないが、もっとフェスブックのようにこちらから積極的に情報を発信できるツールも考慮したほうがよい。 ・学校評価において、改善点や評価されていることなど、よりよい学校づくりを進めていることを内外により積極的に発信していく事も重要であると考えている。

留意点（1）重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。

（2）学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的な対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。